

H.C.R.2026

第53回国際福祉機器展&フォーラム

クリエイティブな未来を拓く

リアル展

2026

10/7水 → 9金

東京ビッグサイト
東展示ホール1・2・3・7・8

Web展

2026

9/1火 → 11/13金

H.C.R.Webサイト 特設サイト内

2026

出展募集期間

1/15木 → 3/31火

Web展は 5/29金 〆切

展示対象

高齢者、障害者(児)の自立促進と社会参加のための福祉機器、リハビリテーション機器や介護機器・用品



移動機器(車いす等)



移動機器(杖、歩行器等)



移動機器(リフト等)



福祉車両・関連機器



ベッド用品



入浴用品



トイレ・おむつ用品



衣類、着脱衣補助用品



コミュニケーション・ソフトウェア機器



センサー・見守り機器



建築・住宅設備



リハビリ・介護予防機器



義肢・装具



日常生活支援製品



介護等食品、調理器具



施設環境設備、災害対応設備・用品



感染症等予防用品



福祉サービス向け経営・ケア管理システム



出版・福祉機器情報

いま「福祉」に世界中が注目しています



加速する人口減少と高齢化、認知症の急増、人材不足……。経験したことのない社会の変化と課題は福祉に集中しています。

福祉の最前線では、一人ひとりの挑戦が、一つひとつの革新を生み出しています。

そして福祉機器は、世界中の人々の暮らしと自立を支え成長しています。

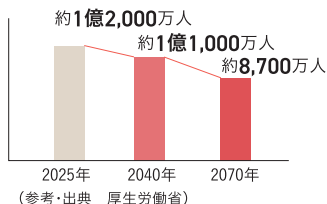


人生100年時代。

国際福祉機器展は、福祉機器の最新情報と関係者の交流の場を提供し、すべての人々のより多様で豊かな生活が実現できる社会をめざします。

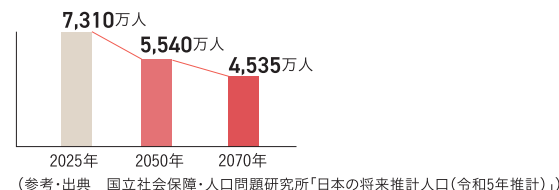
【人口推移】

とどまらない人口減少



【生産年齢人口推移】

働き手が減り続ける



【高齢化率】

3人に1人が65歳以上に

65歳以上の総人口に占める割合

2020年	28.6%	3.5人に1人
2038年	33.9%	3人に1人
2070年	38.7%	2.6人に1人

(参考・出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」)

【認知症患者数】

2030年には65歳以上の14%

2022年	443万人	8年間で約80万人増える推計
2030年	523万人 (65歳以上の14%)	
2050年	587万人	
2060年	645万人	以降増加傾向

(参考・出典 認知症および軽度認知障害有病率調査並びに将来推計に関する研究)

【介護費用総額】

すでに11兆9,300億円

(※)2024年度介護給付費と自己負担分の総額
(参考・出典 厚生労働省)

【必要な介護職員数】

数十万単位の介護人材不足へ

2020年度	215万人
2026年度	240万人必要
2040年度	272万人必要

(参考・出典 厚生労働省)

【障害福祉サービス関連予算】

この15年間で3倍以上に

2025年度	予算額 1兆7,033億円	+1,034億円
2026年度	予算額 1兆8,067億円	

(参考・出典 厚生労働省 令和7年度予算・令和8年度概算要求額)



H.C.R.2026 第53回国際福祉機器展&フォーラム アジア最大規模の福祉機器展

高齢者、障害者(児)の日常生活の自立促進と社会参加のための福祉機器、
リハビリテーション機器や介護機器・用品など、幅広く展示しています。
介護・障害福祉、ヘルスケア、まちづくり、就労、社会参加など、
多彩なイベントも同時開催しています。

展示 体験



web展

出展社や展示製品は
web上でも検索、チェック可能。



福祉業界
最大級!

12万人の出会いと発見が待っています

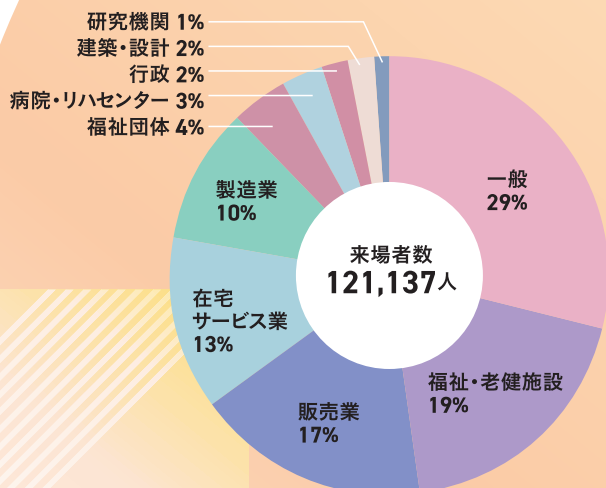
出展に係る詳細は、出展要項をご覧ください。
H.C.R.web サイト▶出展検討企業の方へ▶出展概要ページ

来場者数

12万人以上

幅広い来場者層

福祉機器利用者、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員、介護福祉士、
社会福祉士、ホームヘルパー、PT、OT、医師、看護師、栄養士、保育士等、
福祉・介護等事業経営・管理者、開発・販売企業、行政、一般、
福祉人材養成校学生 等



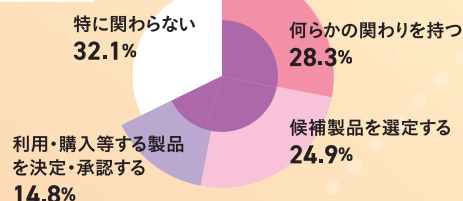
出展社数

414社

うち海外企業53社

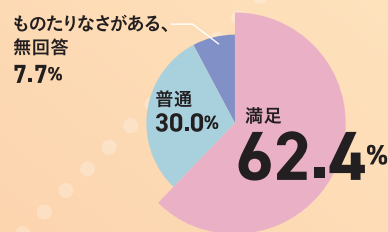
来場者のうち、製品選定や決定、
関わりを持つ人は

約7割



来場者満足度

62.4%



Voice

【来場者の声】 実際に試して効果を実感

会場で製品を直接試せるため、特徴や効果をその場で確かめられました。購入検討に大いに役立ちました

【来場者の声】 新製品にいち早く出会える

毎年、最新の福祉機器やサービスに触れられるのが楽しみです。情報収集の場として欠かせません

【来場者の声】 説明がわかりやすく、理解が深まる

担当者から直接話を聞くことで、導入事例や活用方法を丁寧に教えてもらえました。理解が一段と深まりました

【出展社の声】 海外展開の可能性を実感

海外バイヤーの来訪が多く、国際展ならではのネットワーク拡大につながりました

【出展社の声】 試作品への反応がダイレクトにわかる

開発中の製品を展示したところ、「すぐに購入したい」といった反応もあり、市場の手応えを直接つかむことができました

【出展社の声】 利用者のリアルな声が開発のヒントに

導入前の課題や実際の使用感など、多様なフィードバックが寄せられ、製品改善に役立っています

※H.C.R.2025来場者・出展社アンケートより

～H.C.R.半世紀超え、未来を拓く～



1974年(第1回) 福祉機器展のはじまり

草創期、全国的な施設整備計画を背景に



1996年(第23回) 東京ビッグサイトで初開催

初の来場者数10万人突破
H.C.R.は新たなステージへ



2000年(第27回) 介護保険制度施行

ビッグサイト東6ホール全面使用
来場者数は13万人を突破



2020年(第47回) 新型コロナ感染拡大

初の実展示会中止
web展に切り替え情報発信



1986年(第13回) わが国初の国際展示会

海外企業誘致による
開発提携や技術交流の
促進



1992年(第19回) 3度目の国際展示会

以後国際化が定着
会場規模も拡大傾向へ



H.C.R.ロゴの誕生

2018年(第45回) 東1～8ホールへ

過去最大面積での開催
翌2019はオリパラの影響で西南棟へ



2023年(第50回) 50回記念

コロナによる社会の変化
web展とのハイブリットによる
福祉総合展示会へ転換



H.C.R. webサイト



<https://hcr.or.jp/>

H.C.R.事務局

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5F
一般財団法人保健福祉広報協会
Tel.03-3580-3052(平日9:30～17:30/土・日・祝日をのぞく)
Fax.03-5512-9798
E-mail info@hcrjapan.org

主催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会